

授業概要

本講義では、日本経済が直面する様々な課題に対して、政府はどのように政策を行うべきかについて考える。そのため、経済政策理論の柱である「成長政策」、「安定化政策」、「再分配政策」について講義する。学生自らが関心のある経済政策の問題について、新聞やインターネットで調べて発表する。具体的な課題を事例として紹介し、グループワークでのディスカッションを通して、自分自身で解決方法を探り、経済政策を自分の頭で考える力を養う。

授業計画

第 1 回	はじめに 経済を自分の頭で考える力
第 2 回	第 1 章 経済政策は「幸福を目指す」ためにある [幸福と経済/経済政策の三本柱]
第 3 回	第 1 章 経済政策は「幸福を目指す」ためにある [経済政策を考える出発点]
第 4 回	第 2 章 成長政策 [成長政策の基本]
第 5 回	第 2 章 成長政策 [市場の機能と競争政策]
第 6 回	第 2 章 成長政策 [「市場の失敗」にどう対処するか]
第 7 回	第 3 章 安定化政策 [安定化政策の基本]
第 8 回	第 3 章 安定化政策 [財政政策]
第 9 回	第 3 章 安定化政策 [金融政策]
第 10 回	第 4 章 再分配政策 [再分配政策の基本]
第 11 回	第 4 章 再分配政策 [セーフティネット]
第 12 回	第 4 章 再分配政策 [社会保障制度の歪み]
第 13 回	第 5 章 「これからの日本経済」を読むために [「これまで」の総括と問題点]
第 14 回	第 5 章 「これからの日本経済」を読むために [「これから」の可能性と前途]
第 15 回	第 5 章 「これからの日本経済」を読むために [私たちがもつべき「目」と「頭」]
第 16 回	定期試験

到達目標

1. 経済政策の基礎知識を学び、経済課題の解決のための手段を説明できる。
2. 市場の失敗に対処するための政府の役割を理解し説明することができる。
3. 財政政策と金融政策の仕組みを理解し、その概要を説明できる。
4. 社会保障制度の歪みを理解し、日本の社会保障制度のあるべき姿について説明できる。
5. 失敗を繰り返してきた日本の経済政策の課題を理解し、改善のための具体的な政策提言ができる。

履修上の注意

活発なディスカッションや授業中の積極的な発言を期待する。授業内容について疑問点があれば授業中だけでなく、後に残さずに授業終了後にも質問すること。遅刻や私語といった他の履修生の迷惑になる行為については、成績評価を減点する。

予習・復習

予習としては、授業で学習する内容について指定した教科書をよく読んでおくこと。また、授業後はノートや配付した資料に目を通し、学習した内容の復習をすること。

評価方法

授業で課す課題と授業態度（50%）、期末試験もしくは期末レポート（50%）を評価対象とする。

テキスト

- ・教科書名：『図解 ゼロからわかる経済政策「今の日本」「これからの日本」が読める本』
- ・著者名：飯田泰之
- ・出版社名：KADOKAWA
- ・出版年：9784041107331